

オフィス環境 イノベーション

変わるオフィススペース オーダー内容に変化

働く環境をワークパーソンに整える企業が増えている。効率性のみを追求するのではなく、リラクゼーション効果も配慮し、気持ちよく働けるオフィスが増加している。観葉植物などの緑化で自然を感じるオフィスも人気だ。オフィス全体の内装を変えることは難しいが、たとえば既存の事務机に木の天板を乗せるだけでオフィスの雰囲気はガラッと変わる。大掛かりな内装工事も必要なく、手軽に「オフィスの木質化」が可能だ。

オフィスはコミュニケーションの場 自然素材に囲まれリラックス

年4月に発令された緊急事態宣言が解除されたから、オフィススペースのオーダー内容が変わってきました。オフィスの3分の1くらいラウンジスペースにしてほしいとか、コミュニケーションを取りやすいオフィスを目指される企業が増えましてね。オフィスの居心地を良くしたいという声も増えています。自然素材の方がリラックス効果もあり、コミュニケーションにも良い影響があるだろう。コロナ禍とはいえ、企業活動を続ける以上、少しでも感染リスクを避けながら業務を遂行しなければならぬ。全社員を毎日出勤

社員の働く環境が重要に

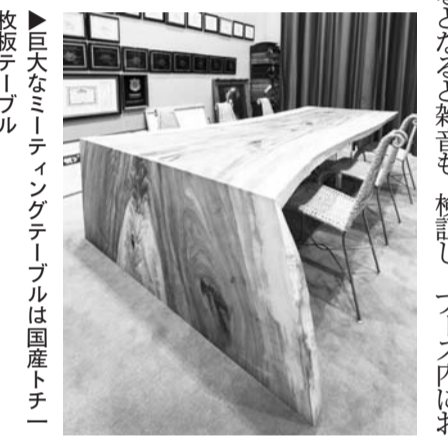


KIJIN 代表取締役 石川 玄哉氏

「オフィスを変えたい」という要望は、IT系企業が約3割で一番多いですが、いろいろな職種の企業からお問い合わせがありま



▲既製品デスクに木材の天板を「トッピング」



▶巨大なミーティングテーブルは国産トチノ材板テーブル

オフィス環境が変わりつつある。働き方の多様化やコロナ禍の影響で従来のオフィスが徐々に姿を変えている。働きやすさを追求し、リラクゼーションを設けたり小鳥のさえずりや川のせせらぎなどの自然音をBGMとしたり、無機質なオフィスを表情豊かにする試みは様々だ。オフィスの木質化もその一つ。木のぬくもりを感じる新しいオフィスに注目。



▲WOOBOO木製外観 ▼スマホ台も全て木製



ける最適照明をデザインした。1回目の緊急事態宣言明けで、オフィスを変えたいという企業からの「個別でオンラインミーティングで

迷感だけでなく、ミーティングの相手先に失礼なことにもなる。出社してオンラインミーティングをする場合は、会議室を使用する場合同様に、会議室を重畳、会場の雰囲気も整える必要がある。会議室を重畳、会場の雰囲気も整える必要がある。会議室を重畳、会場の雰囲気も整える必要がある。

「WOOBOO」は国産材を使用し、狭い個室でも圧迫感を感じない木材の壁に囲まれ、リラックスしながら仕事をできる。完全防音ではないが、木材は音を適度に吸収するため、雑音も軽減。オンラインミーティングで顔色の映りが悪くないよう、照明デザインと提携し、彩度の高い色調を揃えて、視界はすべて木材だ。オプションで吸音材付きの天井板を付けることができる。

「1箱」、自然素材に囲まれるエリアがあれば、会社全体の生産性向上が期待できる。今後の拡大に期待したい。

不動産ビジネス専門家協会 PREEB通信

第60回 テレワーク時代を賢く生きる ポストコロナの田舎暮らしのススメ(後編その1)

企業の事務所は利便性が高い都心部において開設するのが一般的であり、主だった貸ビルエリアはこの数年、低空室率と賃料の上昇トレンドにあった。だがコロナ禍を経て状況は一変。リモートワークの浸透で、オフィスを都心に置く必要がなくなりつつある。

中核市などの地方都市がこれにあたることを考えています。4・1 東京都などの郊外の田舎町を指す。多摩地区や西湘・横須賀、房総半島でプチ田舎暮らし

生活していくうえで、不可欠な設備が存在しないような田舎(山の町や無人島)も多く存在し、このような町に在り、このように田舎暮らしの魅力を再認識する。程よい距離感を取り戻すに、田舎暮らしは、人間の完全な整備された大都市並である都市が日本にはたくさんあります。したがって、都会から移住する場合は、豊かな自然がある程度残ったまま、戦後高度経済成長の遺産により、住居が容易で、車や電車で移動し、どこにいても、それほど不便ではないです。田舎町「トカイナカ」がおすすめなのですよ。トカイナカの定義は千差万別ですが、私は東京などの「大都会」から比較的近い郊外の田舎町」又は、首都圏に何十分もかかると、最寄り駅や最寄りICなど、一部都市化されている



さて前編の続きです。具体的には、生活していくうえで、関東地方における地方移住・郊外移住のおすすめの地域を解説していきます。4・トカイナカ(都会田舎)に住もう！移住むと、田舎暮らしの豊かさよりも、都会であるのに田舎暮らしというデメリットが際立ちます。程よい距離感を取り戻すに、田舎暮らしは、人間の完全な整備された大都市並である都市が日本にはたくさんあります。したがって、都会から移住する場合は、豊かな自然がある程度残ったまま、戦後高度経済成長の遺産により、住居が容易で、車や電車で移動し、どこにいても、それほど不便ではないです。田舎町「トカイナカ」がおすすめなのですよ。トカイナカの定義は千差万別ですが、私は東京などの「大都会」から比較的近い郊外の田舎町」又は、首都圏に何十分もかかると、最寄り駅や最寄りICなど、一部都市化されている

東京西部多摩地区：アクセスを考えると東は西の相模湾側、交通

今月の筆者
ふじの行政書士事務所
行政書士 藤野 慶和氏
●プロフィール
行政書士、会社役員。東京都に事務所を開業し、自身は地方在住し、東京に通勤。2020年、20年間放置されていた4LDKの廃墟をDIYでリフォームし居住。ローコストリフォーム、ローコスト移住を推奨している。地方移住仲介も積極的に推奨中

コラムのご感想・ご意見は下記まで!
一般社団法人不動産ビジネス専門家協会
東京都千代田区神田東松下町28番地
小林ビル101 (☎03-3527-1876)
http://www.fudosan-pro.biz/